

6 平成 18 年度 事業のまとめ

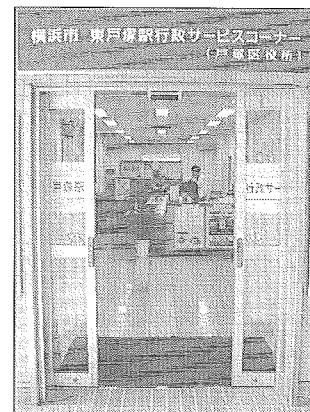
(1) より便利で快適な図書館を目指します

ア 身近な公共施設での図書の貸出・返却取次の試行(図書取次サービス試行事業)
行政サービスコーナーや地区センター、駅返却ポストなどで、図書の貸出・返却取次サービスを区役所と連携し、試行調査として実施しています。

平成 17 年 12 月に開始した旭区の二俣川駅行政サービスコーナー、戸塚区の東戸塚駅行政サービスコーナー及び青葉区の奈良地区センターでの市立図書館の所蔵図書の貸出・返却サービスを試行事業として継続しました。

また、青葉区内の東急線市が尾駅、青葉台駅、たまプラーザ駅に設置した返却ポストや区民交流センター「田奈ステーション」のカウンターでの図書返却サービスも継続しました。

なお、この試行事業における年間の利用件数は毎月増加傾向にあり、利用者アンケートの結果も好評なことから平成 19 年度も継続して実施し、費用対効果や運用形態のあり方などをさらに調査・検証していきます。



【平成 18 年度利用実績】

区	場 所	実施内容	延べ利用数		
			利用者(人)	貸出(冊)	返却(冊)
旭	二俣川駅(相鉄線) 行政サービスコーナー	貸出・返却	18,283	31,169	50,792
戸塚	東戸塚駅(JR線) 行政サービスコーナー	貸出・返却	32,806	54,949	64,028
青葉	奈良地区センター	貸出・返却	5,307	9,519	14,273
	田奈ステーション (区民交流センター内)	返却	/		
	市が尾駅(東急線) 青葉台駅(東急線) たまプラーザ駅(東急線)	返却ポスト			
					135,334

イ 利用者アンケートの実施

来館者を対象に、来館目的、利用満足度、図書館サービスの認知度、図書館でのボランティア活動、充実を望むサービスなどについて、アンケート調査を行いました。

5月に全図書館で実施し、3,884人の方から回答をいただきました。

「職員の対応」(94.3%)、「目的の本や資料の探しやすさ」(82.8%)などが高い評価を受ける一方、充実を望むサービスとして、「本や雑誌・新聞の充実」(59.3%)、「本が読みやすい机・椅子・照明等を用意する」(23.9%)などが挙がりました。また、図書館でのボランティア活動には、4人に1人(27.6%)が「活動したい」と回答しています。

詳しい調査結果は、市立図書館ホームページで公開しました。

アンケートの結果は、今後の図書館運営に活用していきます。

ウ 利用者の要望の把握

「市民からの提案」などに寄せられる声を聴き、生かしていきます。

横浜市では、広く市民の皆様からの声を聴き、市政に反映していくために、「市民からの提案」事業を実施しています。平成18年度に「市民からの提案」などに寄せられた図書館に関する意見・提案は391件でした。要望事項の第1位は予約に関するもので75件。

以下、地区センターとの連携・返却ポスト増設などサービスポイントの拡大(40件)、図書館資料の充実や資料の収集に関すること(39件)、市民対応(38件)と続いています。

図書館運営に関すること	図書館建設・充実	25
	サービスポイントの拡大	40
	開館日・時間の拡大	11
	施設に関すること	29
	その他	32
図書館サービスに関すること	貸出・返却に関すること	27
	予約に関すること	75
	図書館システムに関すること	4
蔵書に関すること	蔵書充実・資料収集	39
	資料管理・書架管理	18
職員に関すること	市民対応	38
その他	利用者マナー	7
	その他	46
合 計		391件

エ 安全で快適な環境づくり

全図書館で「特別展示 本が泣いています。」を実施しました。

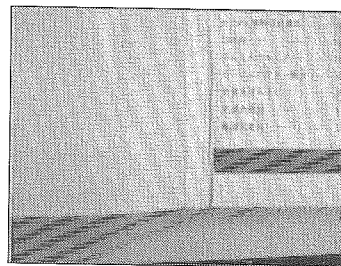
平成18年10月27日(金)から11月16日(木)まで、「特別展示 本が泣いています。」を一斉実施しました。

利用者による切り取りや書き込みのために利用できなくなる図書館資料が増加しています。実際に切り取りや書き込みをされた本・雑誌を展示して被害の深刻さを市民に伝え、マナーの向上を訴えました。この取組については、新聞、テレビ番組などでも取り上げられました。

図書館をご利用になるすべての方にルールやマナーを守っていただけるよう、来年度以降も、ポスター等の掲示やキャンペーンを通して働きかけを行っていきます。



表紙のアイドルの写真が切り取られた雑誌



末尾の約70ページが切り取られた離乳食の本